

株式会社ダイフク

平成24年3月期

第3四半期決算説明資料

平成24年2月10日

DAIFUKU
Material Handling and Beyond

- 医薬、流通向けの大型案件、韓国、北米の半導体工場向け案件は引き続き堅調
- 自動車生産ライン向けは北米、新興国を中心に受注が回復
- 海外子会社が好調
- 税制改正による繰延税金資産の取り崩しが純利益に影響
- 通期受注見通しを修正（8ページ）

2-1. 平成24年3月期第3四半期業績(連結)

DAIFUKU**2**

回復基調を維持

(単位: 億円)

(平成24年3月期3Q)

(前年同期)

(対前年同期比)

受注高	1,386	1,272	(9.0%増)
売上高	1,429	1,117	(27.9%増)
営業利益	13	△3	(16億円増益)
経常利益	8	△7	(16億円増益)
四半期純利益	△7	△12	(5億円増益)
包括利益	△24	△31	(6億円増益)

※億円未満切り捨て

1株当たり 四半期純利益	△6.47円	△11.71円
-----------------	--------	---------

※ 平成24年3月期3Qの受注は、平成23年4月から連結対象となったローガン社の受注残約60億円を含む

2-2. 報告セグメントの業績

DAIFUKU

3

その他海外子会社が好調

(単位: 億円)

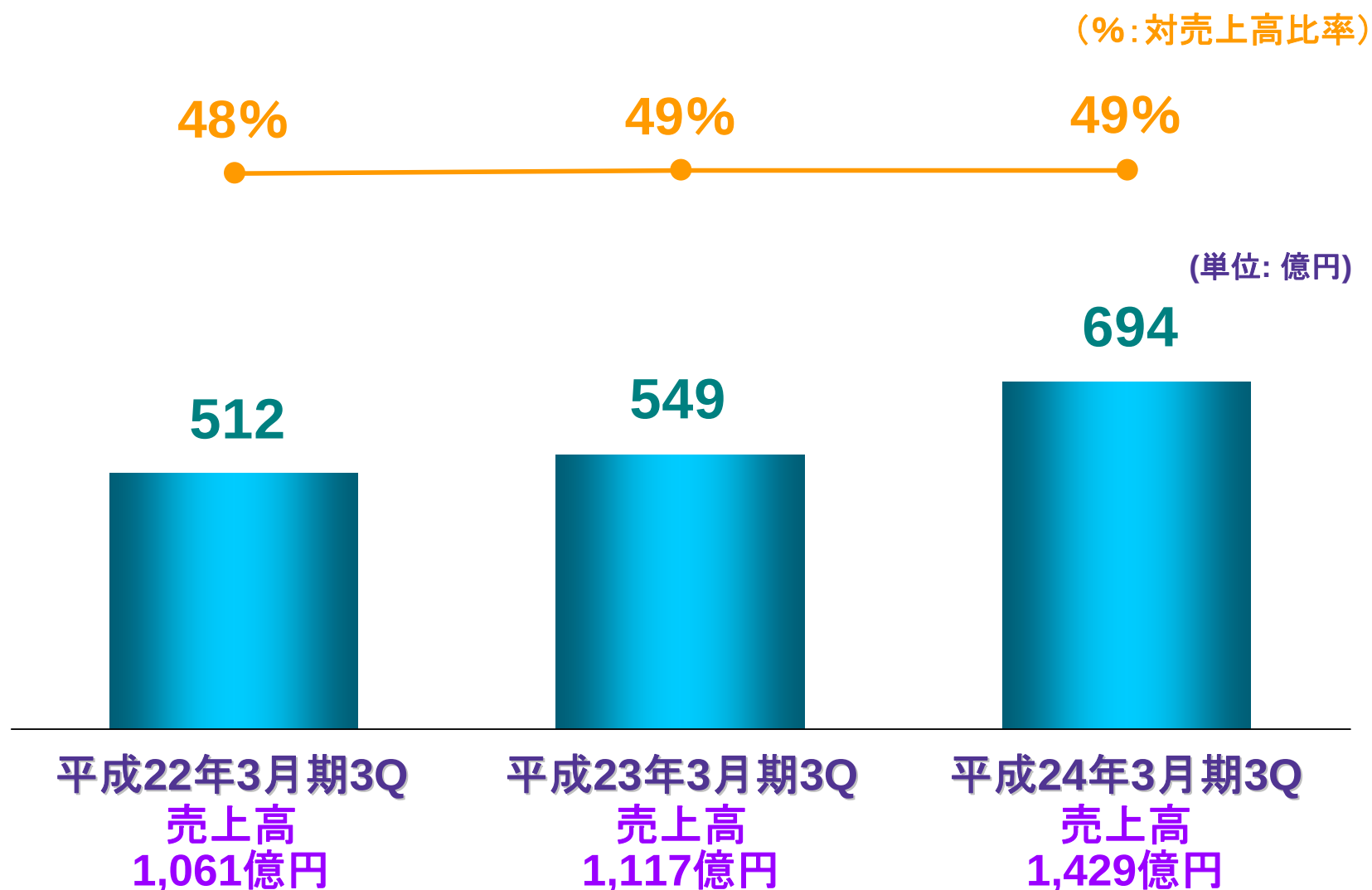
	売上高 (外部顧客への売上高)		セグメント利益 (四半期純利益)	
	(平成24年3月期3Q)	(前年同期)	(平成24年3月期3Q)	(前年同期)
ダイフク	827.0	690.7	△11.5	△4.5
コンテック	57.5	63.7	△2.3	4.2
DWHC※	207.4	163.4	7.1	5.5
その他	335.9	229.0	15.2	3.3
連結調整等	1.4	△29.7	△15.6	△21.5
計(調整後)	1,429.3	1,117.2	△7.1	△12.9

※ DWHC=DAIFUKU WEBB HOLDING COMPANY
DWHCは12月決算会社

3. 海外売上高の推移

DAIFUKU

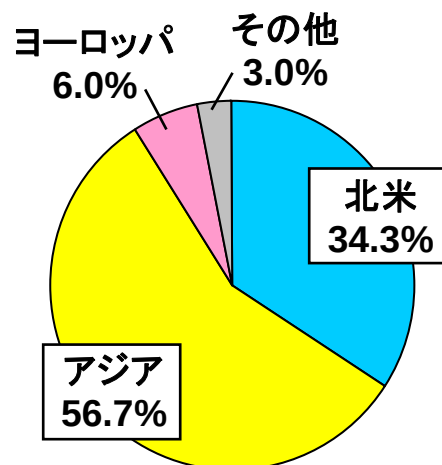
4



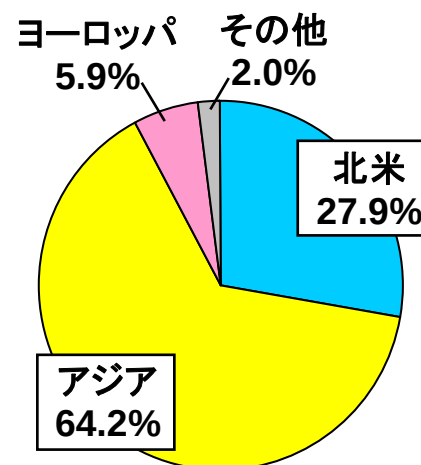
4. 海外地域別売上高

DAIFUKU

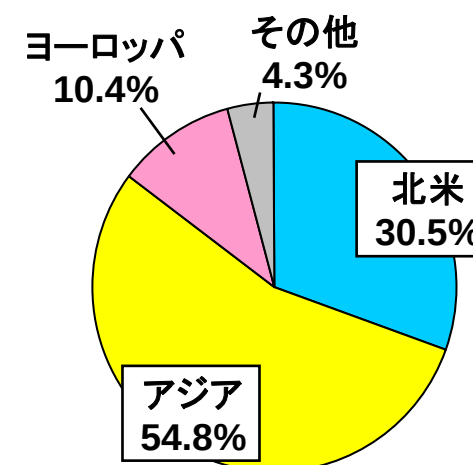
5



平成22年3月期3Q



平成23年3月期3Q



平成24年3月期3Q

(単位: 億円)

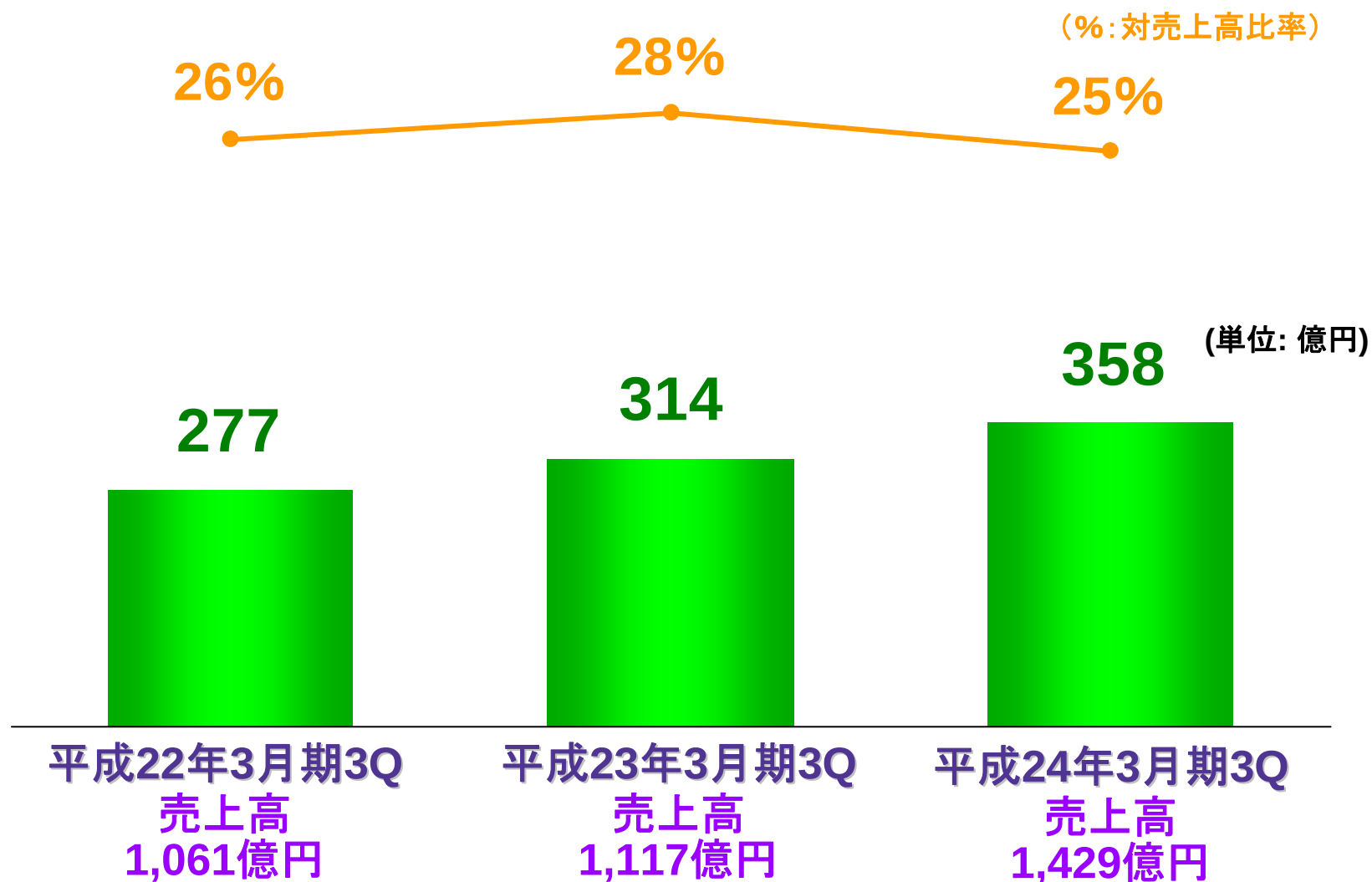
地区 国名		平成22年3月期3Q		平成23年3月期3Q		平成24年3月期3Q	
		売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)
北米		175.6	34.3	153.5	27.9	212.2	30.5
アジア		290.3	56.7	352.3	64.2	380.9	54.8
	韓国	66.7	13.0	105.5	19.2	110.0	15.8
	中国	45.1	8.8	149.8	27.3	107.0	15.4
	台湾	141.0	27.5	68.5	12.5	103.9	15.0
	その他	37.5	7.4	28.5	5.2	60.0	8.6
ヨーロッパ		31.2	6.0	32.6	5.9	70.9	10.4
その他		15.7	3.0	10.6	2.0	30.4	4.3
合計		512.8	100.0	549.0	100.0	694.4	100.0

5. サービス売上高の推移

DAIFUKU

6

※サービス売上高：納入したシステム・製品を対象にした、保守・メンテナンス、リニューアル、改造工事などによる売上高



6. 連結業種別受注高、売上高

DAIFUKU

7

自動車および自動車部品の受注・売上が回復

(単位: 億円)

業種	受注高				売上高			
	平成23年3月期3Q		平成24年3月期3Q		平成23年3月期3Q		平成24年3月期3Q	
	受注高	構成比(%)	受注高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
自動車および自動車部品	275.3	21.6%	336.4	24.3%	171.9	15.4%	300.8	21.0%
エレクトロニクス	380.0	29.9%	345.7	24.9%	359.1	32.1%	447.8	31.3%
商業および小売業	187.2	14.7%	232.7	16.8%	236.5	21.2%	227.2	15.9%
運輸・倉庫	80.2	6.3%	58.7	4.2%	43.0	3.9%	67.2	4.7%
機械	32.6	2.6%	42.9	3.1%	27.1	2.4%	43.6	3.1%
化学・薬品	57.2	4.5%	80.8	5.8%	61.2	5.5%	77.3	5.4%
食品	52.0	4.1%	41.0	3.0%	54.4	4.9%	38.9	2.7%
鉄鋼・非鉄金属	26.9	2.1%	26.2	1.9%	22.6	2.0%	27.8	1.9%
精密機器・印刷・事務機	18.3	1.4%	25.8	1.9%	17.7	1.6%	19.6	1.4%
空港	88.1	6.9%	100.5	7.2%	63.6	5.7%	88.6	6.2%
その他	74.8	5.9%	96.0	6.9%	60.2	5.3%	90.6	6.4%
合計	1,272.6	100.0%	1,386.7	100.0%	1,117.3	100.0%	1,429.4	100.0%

7. 平成24年3月期業績予想(連結)

DAIFUKU

8

(単位: 億円)

(12月15日公表)

(2月10日修正公表)

(前年同期)

(対前年同期比)

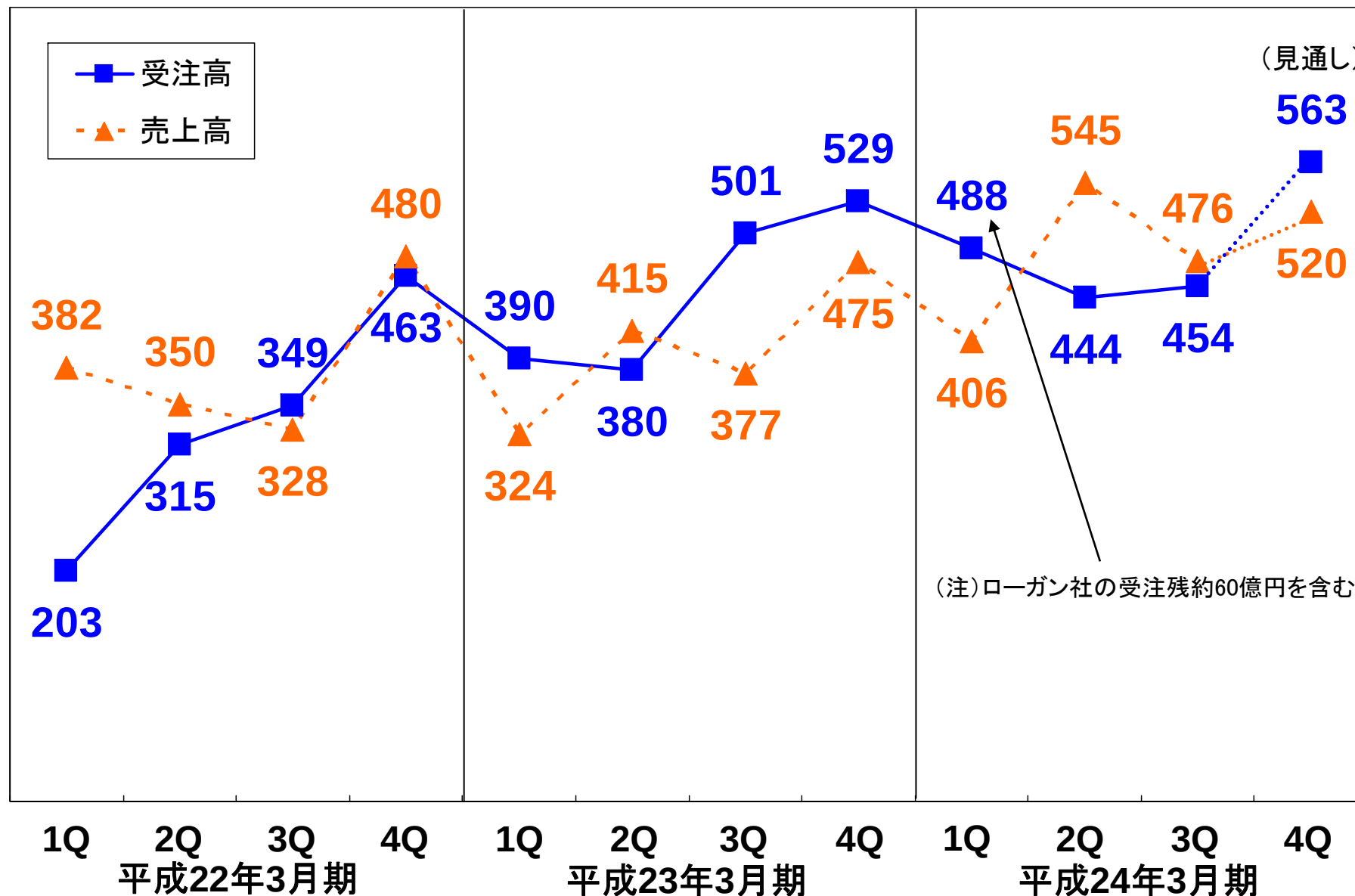
受注高	2,000	<u>1,950</u>	1,802	(8.2%増)
売上高	1,950	1,950	1,592	(22.4%増)
営業利益	35	35	17	(102.7%増)
経常利益	30	30	13	(123.0%増)
当期純利益	1	1	2	(62.9%減)
1株当たり 当期純利益	0.90円	0.90円	2.43円	

8. 受注高、売上高の四半期ごとの推移

DAIFUKU

9

(単位: 億円)

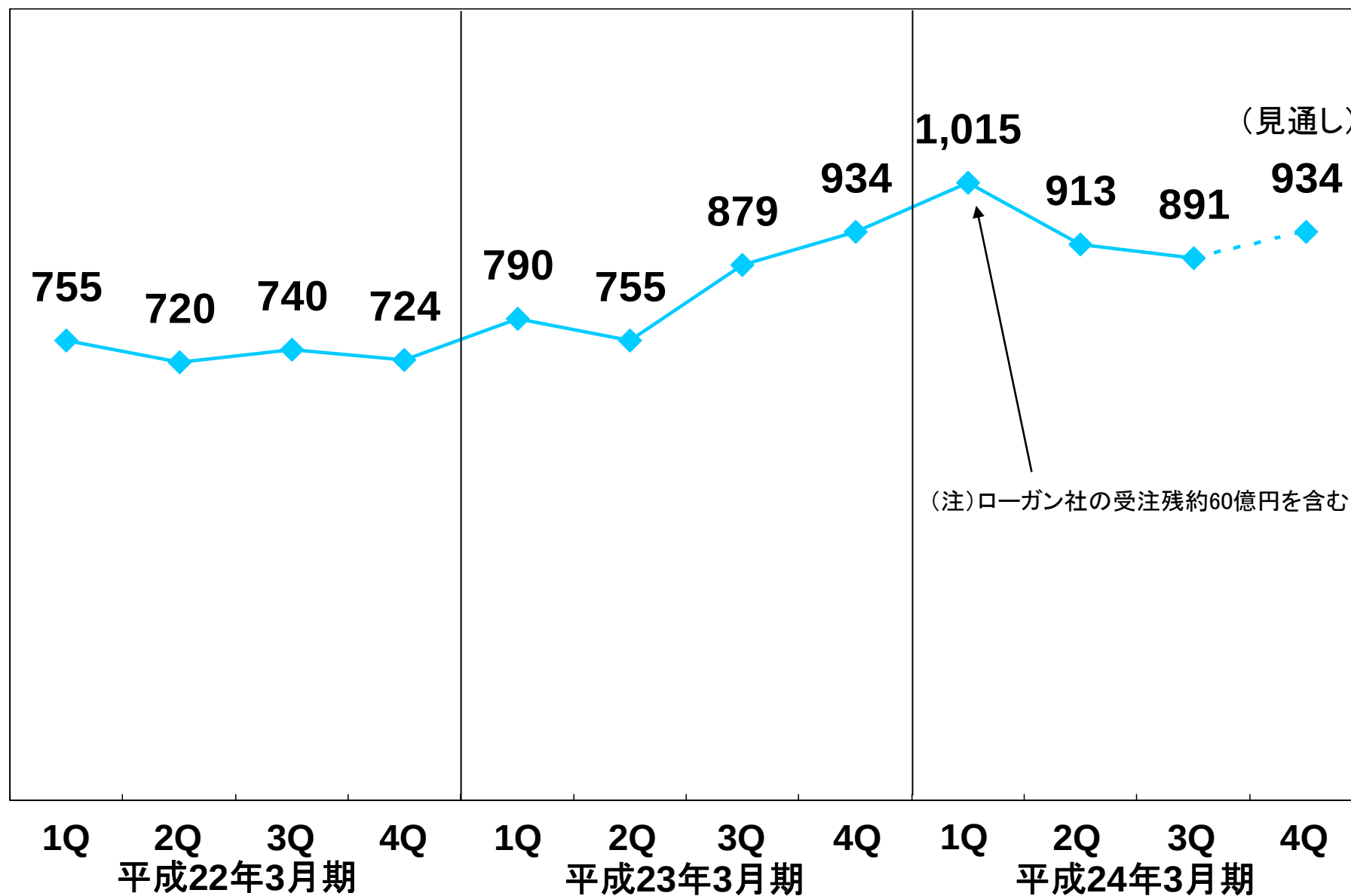


9. 受注残の推移

DAIFUKU

10

(単位: 億円)

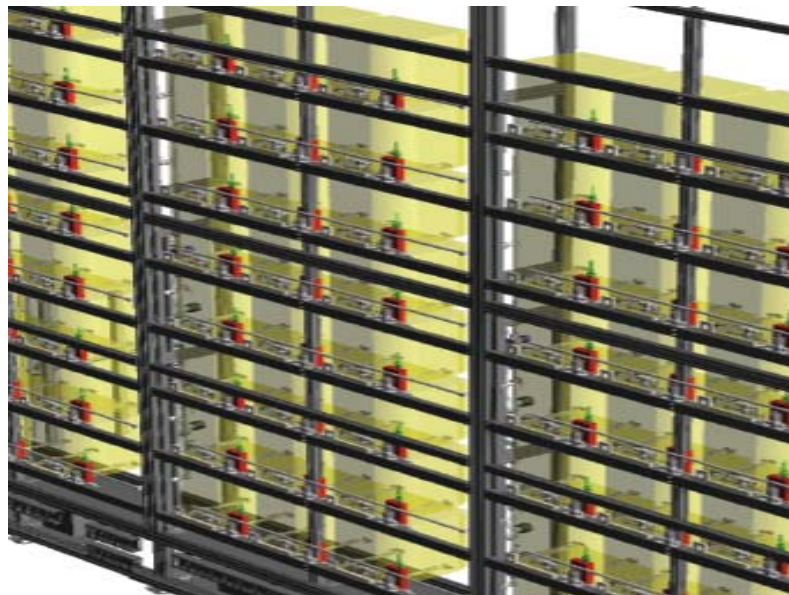


■ (株)日立プラントテクノロジーより事業譲り受け

国内クリーン搬送システムのサービス事業を強化

■ 窒素パージストッカーが好調

半導体の微細化に対応する「窒素パージストッカー」への入れ替え需要が好調



「窒素パージストッカー」のイメージ

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。